【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-521612(P2020-521612A)
【公表日】令和2年7月27日(2020.7.27)
【年通号数】公開・登録公報2020-029
【出願番号】特願2020-515836(P2020-515836)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　9/007　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　9/007　２００Ｂ
Ａ６１Ｆ　9/007　２００Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月6日(2021.5.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
改良された眼外科手術ドッキングシステムであって、
ドッキング基部と、
前記ドッキング基部の遠位端に結合されるドッキングスカートと
を備え、
前記ドッキング基部は、近位レンズを備えるゴニオプリズムと結合されるように動作可能である、改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項２】
医療手技の間に眼表面へのアクセスを提供する前記ドッキングシステムの一部を通した少なくとも１つのアクセスポートをさらに備える、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項３】
前記ドッキング基部と動作可能に結合される真空ホースをさらに備える、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項４】
前記真空ホースは、スカートがドッキング場所において真空シールを生成するように、前記ドッキング場所に留置されるドッキングスカートの内部容積から流体を除去するように動作可能である、請求項３に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項５】
医療手技の間に眼表面へのアクセスを提供する前記ドッキングシステムの一部を通した少なくとも１つのアクセスポートをさらに備える、請求項４に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項６】
前記少なくとも１つのアクセスポートを通して医療手技の間に眼表面にアクセスすることは、前記ドッキング場所に対するドッキング基部固定に干渉しない、請求項４に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項７】
前記ゴニオプリズムは、ドッキングステーションに対して回転するように動作可能であ

る、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項８】
前記ゴニオプリズムは、前記ドッキング基部と恒久的に結合される、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項９】
前記近位レンズは、凹状である、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１０】
前記ゴニオプリズムは、不透明である外部筐体と結合される、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１１】
前記スカートは、弾性材料から成る、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１２】
前記ドッキングデバイスまたはゴニオプリズムに結合される少なくとも１つの照明機構をさらに備える、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１３】
いったん真空シールが生成されると、前記ドッキングスカートは、前記ドッキング場所に固定される、請求項３に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１４】
医療手技の間、前記近位レンズは、角膜および虹彩が、眼を直接見るときにそうでなければ可視ではないエリアにおいて接合する、前記眼の前房の可視化を提供する、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１５】
前記ドッキング基部は、螺合機構を使用してゴニオプリズムと結合される、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１６】
前記ドッキング基部は、ラッチ機構を使用してゴニオプリズムと結合される、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１７】
前記ゴニオプリズムは、傾斜した壁を備える、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１８】
前記傾斜した壁は、光を屈折または反射する、ミラー等の少なくとも光学デバイスを備える、請求項１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
【請求項１９】
改良された眼外科手術ドッキングのシステムであって、
遠位端を含むドッキング基部と、
前記ドッキング基部の前記遠位端に結合されるドッキングスカートと
を備え、
前記ドッキング基部は、ゴニオプリズムに結合されるように構成され、
前記ドッキングスカートは、ドッキング場所に固定されるように構成される、システム。
【請求項２０】
前記ドッキング基部に動作可能に結合される真空ホースをさらに備え、前記真空ホースは、前記スカートが前記ドッキング場所において真空シールを生成するように、前記ドッキング場所に留置される前記ドッキングスカートの内部容積から流体を除去するように動作可能である、請求項１９に記載の改良された眼外科手術ドッキングのシステム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
これらのシステム、デバイス、および方法は、眼への可撤性固定を提供し、医師が角膜を含む眼の部分を正確かつ効果的に処置することを可能にする、外部眼表面へのゴニオプリズムの真空ドッキングの使用を含む。いくつかの実施形態では、ゴニオプリズムは、真空ドックと可撤式または取外可能に結合されることができる一方、その他では、それらは、固定して結合されてもよい。真空機構は、種々の実施形態において、能動的または受動的圧送機構、１つ以上の弁を含む真空シリンジ、およびその他を含むことができる。
本発明は、例えば、以下を提供する。
（項目１）
改良された眼外科手術ドッキングシステムであって、
ドッキング基部と、
前記ドッキング基部の遠位端に結合されるドッキングスカートと
を備え、
前記ドッキング基部は、近位レンズを備えるゴニオプリズムと結合されるように動作可能である、改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目２）
医療手技の間に眼表面へのアクセスを提供する前記ドッキングシステムの一部を通した少なくとも１つのアクセスポートをさらに備える、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目３）
前記ドッキング基部と動作可能に結合される真空ホースをさらに備える、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目４）
前記真空ホースは、スカートがドッキング場所において真空シールを生成するように、前記ドッキング場所に留置されるドッキングスカートの内部容積から流体を除去するように動作可能である、項目３に記載の真空ホース。
（項目５）
医療手技の間に眼表面にアクセスを提供する前記ドッキングシステムの一部を通した少なくとも１つのアクセスポートをさらに備える、項目４に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目６）
少なくとも１つのアクセスポートを通して医療手技の間に眼表面にアクセスすることは、前記ドッキング場所に対するドッキング基部固定に干渉しない、項目４に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目７）
前記ゴニオプリズムは、ドッキングステーションに対して回転するように動作可能である、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目８）
前記ゴニオプリズムは、前記ドッキング基部と恒久的に結合される、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目９）
前記近位レンズは、凹状である、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１０）
前記ゴニオプリズムは、不透明である外部筐体と結合される、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。

（項目１１）
前記スカートは、弾性材料から成る、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１２）
前記ドッキングデバイスまたはゴニオプリズムに結合される少なくとも１つの照明機構をさらに備える、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１３）
いったん真空シールが生成されると、前記ドッキングスカートは、前記ドッキング場所に固定される、項目３に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１４）
医療手技の間、前記近位レンズは、角膜および虹彩が、眼を直接見るときにそうでなければ可視ではないエリアにおいて接合する、前記眼の前房の可視化を提供する、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１５）
前記ドッキング基部は、螺合機構を使用してゴニオプリズムと結合される、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１６）
前記ドッキング基部は、ラッチ機構を使用してゴニオプリズムと結合される、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１７）
前記ゴニオプリズムは、傾斜した壁を備える、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１８）
前記傾斜した壁は、光を屈折または反射する、ミラー等の少なくとも光学デバイスを備える、項目１に記載の改良された眼外科手術ドッキングシステム。
（項目１９）
改良された眼外科手術ドッキングのための方法であって、
ドッキング基部を提供することと、
ドッキングスカートを前記ドッキング基部の遠位端に結合することと、
ゴニオプリズムを前記ドッキング基部に結合することと、
前記ドッキングスカートをドッキング場所に固定することと
を含む、改良された眼外科手術ドッキングのための方法。
（項目２０）
前記ドッキングスカートをドッキング場所に固定することは、真空ホースを前記ドッキング基部に動作可能に固定し、前記真空ホースを使用して、前記スカートが前記ドッキング場所において真空シールを生成するように、前記ドッキング場所に留置される前記ドッキングスカートの内部容積から流体を除去することを含む、項目１９に記載の改良された眼外科手術ドッキングを提供するための方法。